

# 平成23年度 学校自己評価システムシート ( 県立深谷第一高等学校 )

目指す学校像	1 生徒一人一人の進路実現を図るため、学力の向上と大学等への進学を目指した学校 2 部活動や学校行事等を通して、自主・自立の態度を養い、豊かな人間性や健やかな心身を育む学校 3 生徒・保護者や地域の信頼と期待に応える学校
重点目標	1 生徒の学力を伸ばし、大学進学を一層推進する。 2 部活動や学校行事を一層充実させ、規律ある行動がとれる生徒を育成する。 3 学校公開、貢献活動等を一層推進し、開かれた学校をつくる。

達成度	A	ほぼ達成	(8割以上)
	B	概ね達成	(6割以上)
	C	変化の兆し	(4割以上)
	D	不十分	(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	8名
	生徒	5名
	事務局(教職員)	3名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				年 度 評 価 ( 2 月 1 日 現 在 )		
番	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	生徒の授業態度はよいが、向上心を持って学習に臨む姿勢にかけるところがある。	授業の改善と生徒の意欲を引き出す指導体制の構築	①教科主任会での検討を通じた教科横断的な指導力向上の工夫 ②生徒の授業への取組態度の向上 ③家庭学習を促す指導 ④教育課程の改善	①教科主任会、教科会等での研修と指導力向上の工夫 ②チャイム着席の徹底 ③授業の工夫を通しての昨年度比家庭学習増 ④生徒の基礎教養を高める教育課程の編成	①公民、理科、英語で研究授業を行うとともに、教科内で互いの授業を見学するようにした。 ②91%の生徒がチャイム時に授業の準備ができています。(昨年度は86%) ③家庭学習をしない生徒が昨年度より約20%減っている。 ④教育課程委員会で検討中である。	A
1	ほとんどの生徒が進学志望であるが、意欲的に取り組む姿勢に欠けるところがある。	進学指導の充実と生徒の意欲の向上	①「一般受験対応クラス」の運営の充実 ②進路ガイダンスの充実 ③組織的な進学補習の実施 ④保護者を対象とした進路行事の充実 ⑤個別指導の工夫	①「一般受験対応クラス」設置要項に則ったクラス経営 ②分野別ガイダンス年間5回以上実施の他進路体験発表会等の実施 ③進学補習20講座以上の開設 ④参加者の満足度9割以上 ⑤個別の進路相談、補習、面接指導の充実	①順調に運営されている。センター試験受験者はクラス40名中35名である。 ②進路ガイダンスを15回行った他、進路体験発表会を3月に実施する。 ③平日20講座、夏季休業中24講座の進学補習を開設した。 ④98%の満足度であった。 ⑤生徒の進路に合わせ、校長・教頭も含め全職員で指導に当たった。	B
2	部活動や学校行事等に熱心に取り組む生徒が多い。しかし、充実した学校生活を十分送れていない生徒もいる。	部活動の活性化と規律ある生活態度の育成	①部活動指導の充実 ②学校行事の活性化 ③遅刻指導の徹底 ④ルールとマナー指導の徹底 ⑤アルバイトの制限の指導 ⑥安全指導の推進	①1年生全員加入と定着率の向上 ②文化祭等行事の生徒の満足度の向上 ③管理職による遅刻者指導と昨年度比遅刻指導生徒減 ④服装等違反者「0」と登下校時の指導の充実 ⑤無断アルバイト「0」 ⑥救急救命法終了認定教員9割	①10月1日現在の1年生の加入率は96.2%と高い割合である。 ②生徒の満足度は高い。 ③昨年度遅刻指導者総数35名、今年度は12月末現在23名。 ④服装等の違反者が出ないよう日常的な指導の徹底を図っている。特に「自転車安全利用6原則」を策定し、自転車運転マナー向上を図っている。 ⑤アルバイト希望者には申請書を出させ、審査の上、許可している。 ⑥ほぼ全員が講習を終了している。	A
3	保護者、地域、中学生からの本校に対する期待は非常に大きい。	開かれた学校づくり	①ホームページの頻繁な更新による情報発信の充実 ②積極的な地域活動への参加 ③「ときわ樹だより」の市内全家庭回覧 ④「深一高お知らせメール」による保護者への情報提供 ⑤校外における学校説明会の充実	①年100回以上の更新 ②常磐小学校、深谷市関連行事への積極的な参加 ③「ときわ樹だより」年間2回の発行 ④年間20回以上の情報提供 ⑤年間30回以上の実施	①1/13現在223回の更新 ②家庭部による常磐小学校との交流を行った。また、2月に深谷警察署との連携による交通安全キャンペーンを実施する。 ③7月に1回発行し、3月に1回発行する。 ④12月末現在で17回発信している。 ⑤年間37回実施した。	A

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	平成24年 2月14日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<p>☆自主教材を有効的に使い生徒の意欲を高めようとするなど授業改善の努力が生徒にもよい影響を与えている。 ☆家庭学習の大切さを理解してきた生徒が増えてきていると感じられる。宿題等を出さずなどでさらに工夫してほしい。 ☆学力向上への保護者・生徒の関心は高い。全ての教育活動を通じチームワークを高め、保護者の期待に応えることを期待する。</p> <p>☆一般受験対応クラスは同じ目的を持った仲間と共に学ぶことができるので今後さらにクラス数が増えていってほしい。 ☆大学生になってから、社会人になってからのことを考えると、全員が一般受験してほしい。 ☆今の生徒は進路ガイダンスをきめ細かく行わないと意欲がわからないのが現実である。 ☆補習をよくやっている。継続は力なりである。頑張してほしい。</p> <p>☆学校での生活指導が徹底され、地域の方からの評判はよい。生徒は楽しそうに登下校している。 ☆部活動の加入率が大変高い。教員の指導が実を結んでいる。 ☆全国大会、関東大会、県大会へと運動部・文化部ともに出場し、高いレベルを維持している。これは生徒・保護者・教員の努力と協力の成果であり、今後も継続してほしい。 ☆遅刻生徒の数が減少しているのはすばらしい。チャイム着席もよく徹底され、教室がよく整理整頓されている。</p> <p>☆ホームページは学校の様子がよくわかり、中学生にとっては学校選択のよい資料となっている。 ☆地域との交流や学校からのお知らせなどきめ細かく地域に溶け込んでいる姿が想像できる。このまま継続してほしい。 ☆「開かれた学校づくり」に対する教員の協力を感ずる。知人や関係者から本校の高い評価を聞くこととても誇りに思う。</p>	